

自己を見つめ、生き方についての考えを深められる生徒の育成 ～ 道徳科の授業におけるICTの活用を通して ～

特別研修員 道徳 星野 純一（中学校教諭）

生徒の実態

- ・自分の考えや思いを伝える場面において、発言できる生徒が少ない。
- ・道徳科の授業において意見を交流しても、考えを深めるのが難しい。

授業実践

主題名 誠実な心と責任ある態度 内容項目A-(1)自主、自律、自由と責任
教材名「思い出のオムライス」（出典：学研）

主な学習活動

ICT【アンケート機能】の活用

導入

問題意識をもつ

手立て① 集計結果をグラフにして可視化

【アンケート】
うそをついたり、ごまかしたりして、後悔した経験があるか。それはいつ頃か。



- ◎リアルタイムで結果を表示
- ◎興味・関心が向上
 - 主体的な取組
 - 自我関与の高まり



自分と同じような経験をした人がたくさんいるなあ。

展開

考えを深める

手立て② 中心発問に対する全生徒の考えを共有

【中心発問】
「うそつきは、神様が許しても母ちゃんは許さん」という言葉が「私」の頭の中をずっと支配していたのはなぜか。

記述回答欄に簡潔な短文で考えを入力。

- ・母が悲しい顔で言ったから。
- ・あの時の母の目が忘れられないから。
- ・心に深く残ったから。

発言するのが苦手な私にも、自分の考えを表現し伝えることができた！



- ◎誰もが自分の考えを表現し、伝えることができる。
- ◎短時間で多様な考えに触れ共有できる。

《意見交流》
気になる考えについて、班で理由や感想などを伝え合い、考えを深めよう！

1台のICT端末の画面を見ながら交流。

- ・こういう見方や考え方もあるのだね。
- ・これ、私には思い付かなかったけど、なぜそう考えたと思う？

この考えに共感したけど、みんなはどう？



終末

自己を見つめる

手立て③ 三つの視点を与えた振り返りを共有

【振り返り】
三つの視点から、本時の学習を振り返ろう！
*今までの自分
*学んだこと・気付いたこと
*今後に向けての思いや願い及び決意

記述回答欄に、三つの視点から振り返りを入力。

今までは、自分を優先してしまい後悔することがあった。考えてから行動することが大事だと分かったので、結果がどうなるか深く考えることで行動を厳しくしていきたい。

常に周囲への影響も考えて行動したい！

- ◎短時間で、友達の思いや決意に触れ共有できる。
- ◎友達の思いや決意に触れることで、自己を見つめ、よりよく生きる思いや願いを深めることができる。



目指す生徒像

自己を見つめ、生き方についての考えを深められる生徒

成果

- アンケートの集計結果を可視化したことで興味・関心が向上し自分の問題として捉えやすくなり、主体的に取り組む姿が見られ、教材に対する自我関与を高められた。
- ICT端末に入力させたことで、発言することが苦手な生徒も自分の考えを表現し伝えることができた。
- 多様な考えや思いなどに触れ共有させたことで、自己を見つめたり考えを深めたりすることにつながった。

課題

- ▲ICTについて、学習活動のどの場面でどのように活用するのがより有効なのか、今後も検討していく必要がある。
- ▲交流や振り返りの時間を、十分に確保する必要がある。入力時間を短縮することがICTの有効活用につながると考える。

今後への展望

導入から終末まで一つのツールだけを活用しているため、入力した内容をシートにでき、自他の考えの変容が一目で分かる。他のアプリとの互換性もあるので、活用の幅の広がりも期待できると考える。